

令和6(2024)年度 科学研究費助成事業(研究代表者)

No.	研究種目	所属	職名	研究代表者	課題名	研究期間
1	学術変革領域研究(A)	総合文化学部	准教授	新里 貴之	沖縄洞穴遺跡の人類史研究	2024-2025
2	基盤研究(C)	総合文化学部	教授	田場 裕規	琉球舞蹈における「稽古の思想」の研究―伝統的身体技法の習得と継承―	2024-2026
3	基盤研究(C)	法学部	教授	上江洲 純子	pre-insolvencyを含む「法的企業再建スキーム」の構築に向けて―英・RP手続を範として	2024-2026
4	基盤研究(C)	法学部	准教授	野添 文彬	冷戦後の「沖縄基地問題」と日米関係―アジア太平洋地域秩序の観点から	2024-2027
5	基盤研究(C)	総合文化学部	准教授	秋山 道宏	戦後沖縄をめぐる「忘れられた連帯の記憶」：教育、ジェンダー、戦争体験の視点から	2024-2026
6	基盤研究(C)	総合文化学部	教授	岩田 直子	障害者が運動の担い手になる契機及び他者の権利のために活動する主体形成に関する研究	2024-2026
7	基盤研究(C)	経済学部	准教授	照屋 翔大	校長の継続的な力量形成を支援する地方教育行政のあり方に関する比較調査研究	2024-2027
8	若手研究	産業情報学部	准教授	小原 満春	ライフスタイル移住プロセスモデル構築に関する研究	2024-2026
9	若手研究	産業情報学部	准教授	李 相典	OTTサービス・コンテンツ経験による文化的親近性とデスティネーション信頼との関係	2024-2025
10	若手研究	経済学部	准教授	大城 絢子	古新聞のAI-OCRテキストデータのエラー訂正法開発と時系列トピック予測の精度向上	2024-2026
11	学術変革領域研究(B)	総合文化学部	教授	市川 智生	COVID-19による集団変容と歴史的継承の比較研究	2023-2025
12	基盤研究(C)	経済学部	准教授	根路銘 もえ子	大規模文化財の3次元コンテンツ配信・展示手法	2023-2025
13	基盤研究(C)	総合文化学部	教授	下地 賀代子	琉球多良間島において地域言語の継続的な学習環境を構築するためのアプローチ	2023-2025
14	基盤研究(C)	総合文化学部	准教授	比嘉 理麻	沖縄の基地反対運動とアナキズムの人類学-軍事化に抗する生き物たち<生>の理論	2023-2025
15	若手研究	総合文化学部	准教授	山岡 明奈	公正世界信念に着目した炎上加担行動防止に関する検討	2023-2025
16	挑戦的研究(萌芽)	総合文化学部	教授	市川 智生	イギリス保健省文書に基づく東アジアの歴史的疫学環境の再現	2023-2024
17	基盤研究(C)	法学部	講師	青木 洋英	動物保護をめぐる憲法理論の探究-アメリカにおける動物法学の発展と憲法理論の変容	2022-2024
18	基盤研究(C)	総合文化学部	教授	小柳 正弘	「公衆」概念の系譜と現在の探索・整理と、それにもとづく「自己決定」概念の再検討	2022-2024
19	基盤研究(B)	総合文化学部	教授	宮城 弘樹	葬墓制資料に基づく近世琉球社会史の学際的研究	2021-2024
20	基盤研究(C)	法学部	教授	佐藤 学	不人気国策受け入れ政策の政治学：正当化の多重構造と合意形成	2021-2024
21	若手研究	総合文化学部	准教授	月野 楓子	第二次世界大戦後のアルゼンチン沖縄移民社会と「祖国復帰」をめぐる運動の展開	2021-2024
22	基盤研究(C)	総合文化学部	教授	西岡 敏	琉球列島における危機言語の文芸の記録と再生の試み	2021-2024
23	基盤研究(C)	総合文化学部	准教授	阿嘉奈月	多読のメカニズムについて-言語への“気づき”を高める指導方法の模索-	2021-2024
24	基盤研究(C)	産業情報学部	教授	イヒョンジョン	日本語教育推進法による沖縄型日本語支援の在り方-離島地域の結婚移住女性を中心に	2020-2024
25	基盤研究(C)	総合文化学部	教授	桃原 一彦	日本と沖縄との関係をめぐる「受益圏／受苦圏」概念の再検討と実証的研究	2020-2024
26	若手研究	産業情報学部	講師	島袋 桂	保育施設の方針の違いによる身体活動・座位行動環境と身体活動・座位行動の関連	2020-2024
27	特別研究員奨励費	日本学術振興会	特別研究員(PD)	金城 幸宏 ※1	突然変異率およびゲノムサイズの長期的進化動態の網羅的調査と進化駆動要因の解明	2023-2024

※1 受入担当教員：経済学部 准教授 齋藤星耕

沖縄国際大学 研究支援部研究支援課 令和6年(2024)年7月5日